

## 防災行政無線を用いた 緊急地震速報訓練を行います

周防大島町では、地震・津波や武力攻撃などの災害時に、全国瞬時警報システム（Jアラート※）から送られてくる国からの緊急情報を、様々な手段を用いて確実に皆さまへお伝えするため、緊急地震速報訓練を行います。



**11月1日(木) 10時ごろ**

周防大島町が当日実施する訓練は次のとおりです。

情報伝達訓練	内容
防災行政無線の試験放送	防災行政無線（屋外スピーカーおよびすべての戸別受信機）から、訓練用の緊急地震速報が最大音量で放送されますのでご注意ください。

- 周防大島町以外の地域でも、全国的に様々な情報伝達手段で試験が実施されます。
- 気象・地震活動の状況等によっては、試験放送を中止することがあります。
- ※Jアラートとは、地震・津波や武力攻撃などの緊急情報を、国から市区町村へ、人工衛星などを通じて瞬時にお伝えするシステムです。



◆問い合わせ 総務課 消防防災班 ☎0820(74)1000

### 「移民の歴史」では語れない「移民者の軌跡」

## ハワイ移民史150年と今後の150年

このたびのシンポジウムでは、移民が生んだ人と人とのつながりや文化が、言葉や風習、精神性として脈々と残る150年の潮流を、歴史的観点や国際交流の観点から紐解くことで、日本とハワイの歴史について再認識し、今後の交流活性化だけでなく、“親族のつながりとは何か”や“日本への外国人労働者の受け入れに関する課題”など、グローバル時代を迎えた日本の今後150年のありかたについて議論しようとするものです。

◆日時 11月10日(土) 午後1時～4時

◆場所 大島文化センター 大ホール

◆内容

●報告 PBL学生のハワイ研修報告

●第1部 マクロな視点とミクロな視点でハワイ移民の歴史を紐解く

・招待講演1

「世界と向きあった近代 - 周防大島とハワイ -」

・講師 堀 雅昭氏 (作家)

・招待講演2

「椰子の木陰のお地蔵様：ハワイ・ポリネシア的歴史景観の中での日系文化」

・講師 後藤 明氏

(南山大学人文学部人類文化学科教授)

●第2部 歴史を未来につなぐパネルディスカッション

◆参加費 無料

◆主催 山口大学

◆共催 (一社) 国立大学協会、周防大島町、日本ハワイ移民資料館

◆後援 山口県、KRY山口放送

◆問い合わせ

山口大学研究センター事務局  
(山口大学地域連携課内)

☎083(933)5630